

特集 動かし、つなぎ、暮らしを支える鉄

4 時を刻み、豊かな社会をつくる 時計の誕生とその進化

監修 小針 宏明氏 (セイコーミュージアム)

10 Innovation Story 機械を動かす鉄 ボールベアリングができるまで

16 新日鉄住金の棒線事業ブランド SteelLinC[®] スティールリンク

18 技術図鑑 強さと加工性を極める 新日鉄住金の棒線製品

24 ものづくりの現場探訪 高品質な棒線製品を安定供給

26 特別企画 新日鉄住金会長対談 時を超え地球規模で 人と人をつなぎ、 豊かな森と海を創造し続ける

畠山 重篤氏 (NPO法人「森は海の恋人」理事長)
宗岡 正二 (新日鉄住金(株)代表取締役会長)

34 News Clip 新日鉄住金グループの動き



新日鉄住金株式会社 広報誌 季刊 新日鉄住金

Vol.17 2017年3月21日発行

〒100-8071 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号

TEL.03-6867-4111 <http://www.nssmc.com/>

編集発行人 総務部広報センター所長 大西 史哲

企画・編集・デザイン・印刷 株式会社 日活アド・エイジェンシー

- 本誌掲載の写真および図版・記事の無断転載を禁じます。
- ご意見・ご感想をぜひ綴じ込みはがきでお寄せください。



動かし、つなぎ、暮らしを支える鉄

鉄には細く絞り込むほど強くなるものがあります。その性質を活かして、過酷な使用環境に置かれる自動車などのベアリング、ばね、ボルトや橋のケーブルなどに、細くて長い針金状の線材という鉄が使われています。また、鉄に強度とは相反する軟らかさや粘りなどの特性を同時に持たせることで、複雑な形状をつくり上げることができます。棒状の棒鋼という鉄は、その優れた加工性を活かして、ギアやシャフトなどの部品材料に使われています。日頃目にする機会が少ない棒鋼や線材(棒線)は、さまざまな用途に合わせて変幻自在に姿を変えて、自動車や建機、電機、建築・土木といった構造物のなかに組み込まれ、機械を動かしたり、橋をつないだり、私たちの暮らしを支えています。